

ひっち すてっち ぱっち

Hitch Stitch Patch

- 強くしなやかな関係を築く未来の魚津 -

魚津駅の改札を抜けた瞬間から、思わず息をのむような山の近さを感じる山脈の景色、どこにいても山々に囲まれ、海に沈む夕日、夕日が反射しピンク色に染まる山頂、海と山と街が同時に見える桟橋、河の急流と海の波がぶつかり合う河口、夕焼けが映りこみ水面鏡となる冬の水田、円筒分水槽から力強く溢れる水、何百年とかけて成長し岩を抱える洞杉、街なかに湧く水、朝採れの海の幸、お店の方水土のつながり、港エリアにしか受け継がれていないたてもん祭りの技術、、、この街には、地形と水と第一産業とともに歩んできた暮らしが、今でも美しく日常の風景としてありつづけています。当たり前にあるものに改めて目を向けてみると、その存在の大きさに気づきます。そんな魚津の街においては、一度に大きな変化を起こすのではなく、長い時間をかけて小さな出来事が連続し広がっていくことで、歴史や文化、地元民の暮らしの延長にある、この街らしい賑わいと新しさを創出できるのではないのでしょうか。

Hitch Stitch Patch

Hitch Stitch Patchとは、街に**今あるもの**や、**取り入れつつあるもの**を丁寧に拾い上げて育てていくようなまちづくりの手法です。**魚津のエリア特性を活かしたプラットフォーム**をベースに、**Hitch Stitch Patch**していきます。

文化・アートエリアに、**旧大町小学校**を活用した創造の拠点となる『**Fab Hub**』を計画します。魚津の産業（林業、漁業、農業）受け継ぎ新たな可能性を開拓します。

蟹気楼ロードには、発展の舞台となる『**Parklet Marklet**』を計画します。物事を何度も実験的に発展させていくことで、よりこの地域らしさを育みます。

観光エリアには、**魚津水族館の建替え**に伴って展開の舞台となる『**Learn Mart**』（新魚津水族館）を中心に、みらパーク内に関連施設や仕組みを計画します。特殊な地形からなる自然の恵と人々の営みを、学び体験し実感し、日々の生活や活動に活かしていくきっかけを与えます。またそれらは、**季節や目的に順応**して賑わうことを想定しています。

Hitch

…一時的に結び、結び目

魚津の文化と新しい視点を結びつけ、0→1を生み出します。結んだり解いたりできる寛容さが長期的に良い関係を築きます。

Stitch

…部分的に縫う、縫い目

0→1で生み出された物事が、繰り返し街中で場所や形を変えながら試行錯誤され、発展していきます。

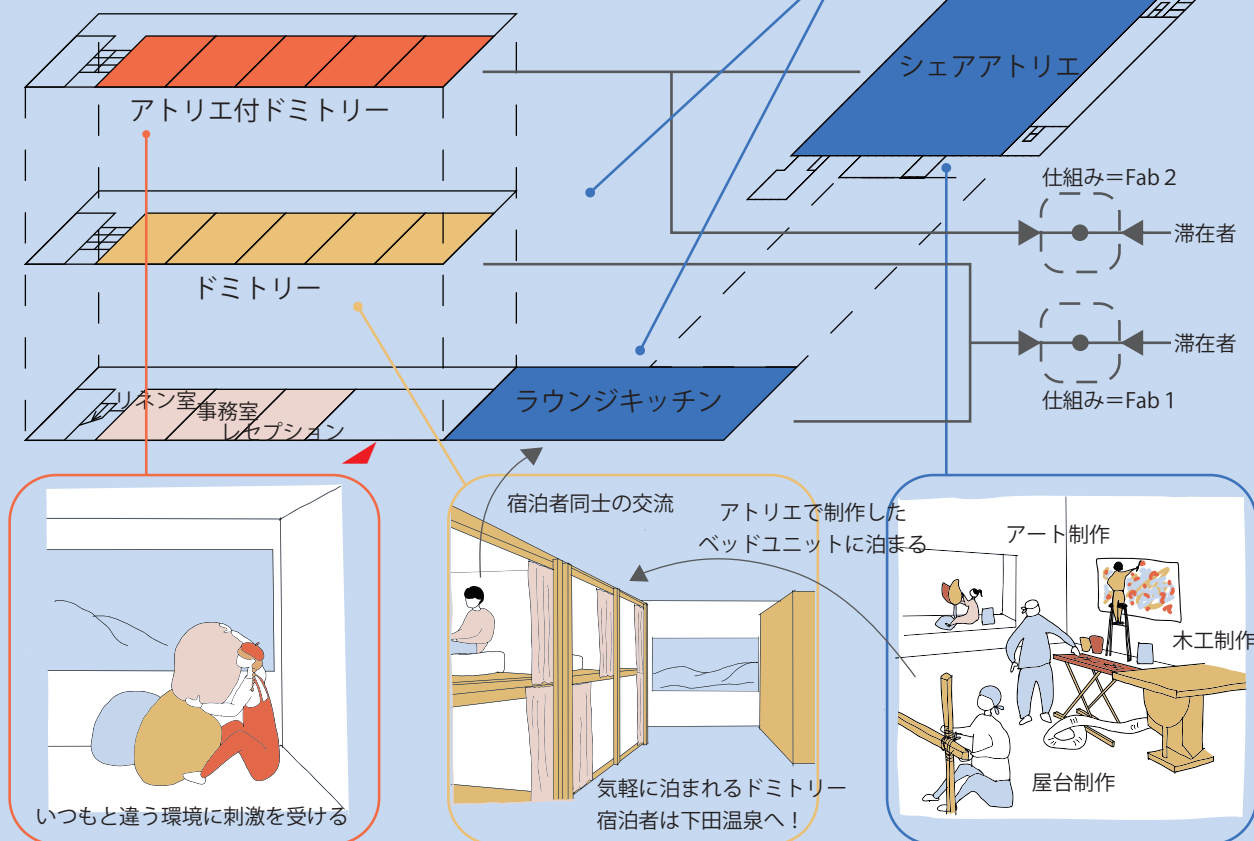
Patch

…継ぎ当てる、当て布

街の空間を埋めるようにまばらに展開していきます。そしてそれが魚津の新しい賑わいの創出につながります。

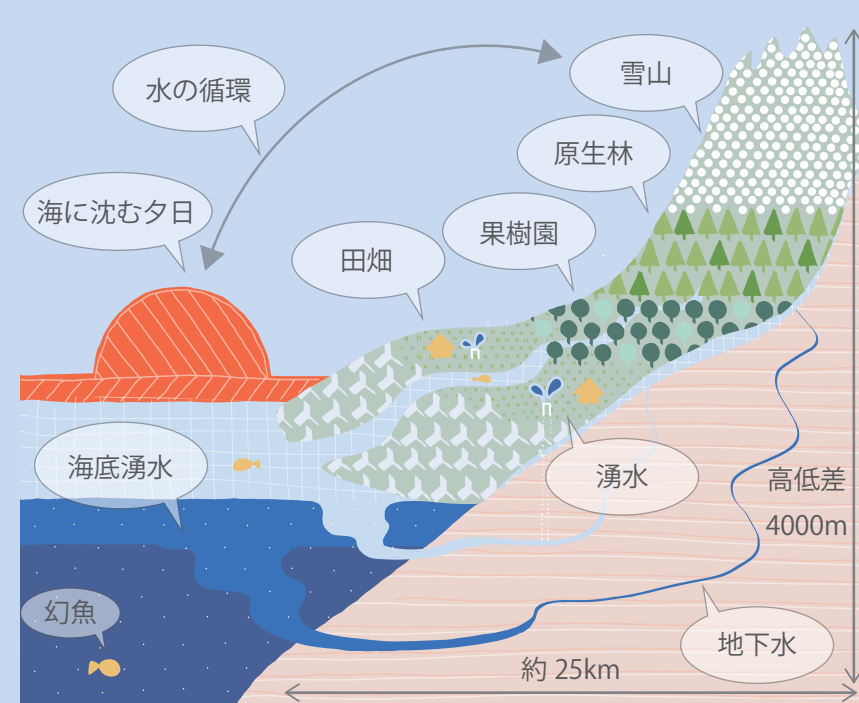
Fab Hub

旧大町小学校を活用して、創造の拠点を計画します。校庭を各地へ向かうキッチンカーの収容拠点とし、体育館の大きな空間は**屋台等の制作アトリエ**とします。教室にはベッドユニットを設えて**ドミトリー型の簡易宿泊所**とし、**ラウンジキッチン**を新設します。アトリエとラウンジキッチンは宿泊者や地元民が使える**シェアスペース**とし、地域内外を結びます。また、それらの機能を活かした滞在者と地域を結ぶ**“仕組み”**により移住人口や関係人口、街の新たな賑わいを創出します。



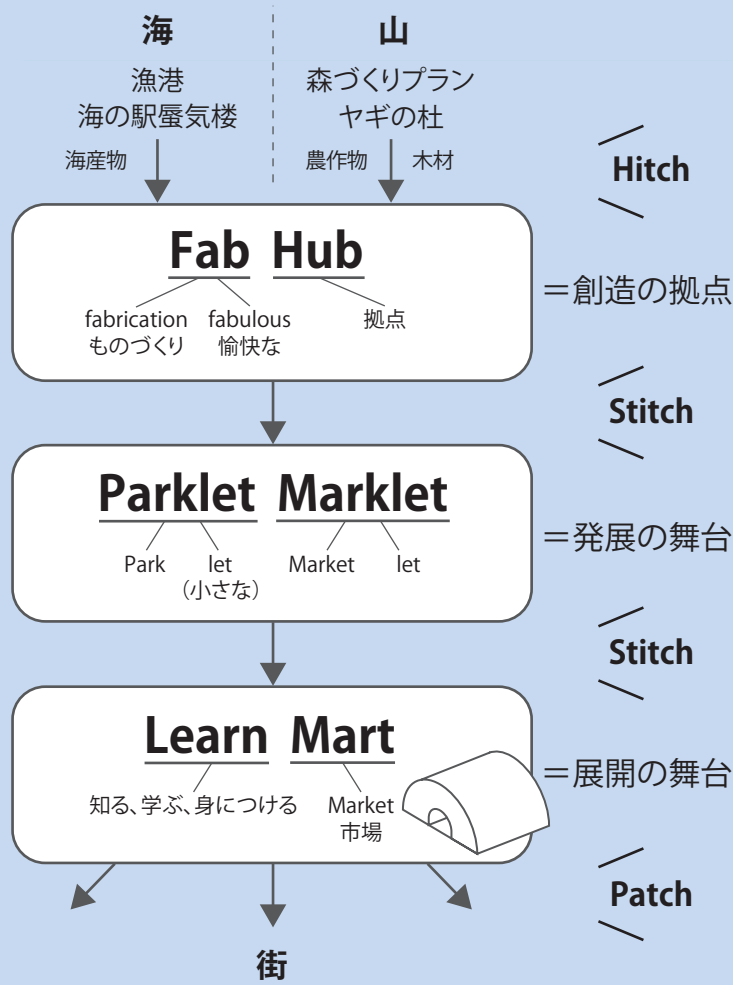
日常が美しく寛容な街、魚津

山と海が日本で一番近い街である魚津は、**特殊な地形の水の循環**により、**海産物をはじめとして水に纏わる全ての作物が豊かな地域**です。また、それらの産業を発展してきた過程の**知恵や技術、記憶**が残りの、街の**資産**として保存されています。境界線があまりなく、今でも**日常の中にある美しい景色**として存在しています。そんな地域を俯瞰してみると、明確ではないものの大きな**エリア特性**があります。テーマパークのある**観光エリア** / 歴史の跡やオブジェ、文化ホールなどのある**文化・アートエリア** / 飲食や買い物の利便性が高い**生活エリア** / 里山〜山にかけての**自然エリア**です。また、たてもん祭りの『**魚津まつり応援団**』や『**ふるさとワーキングホリデー**』などの企画により、**地域外の人々も魚津の文化に触れる機会**ができてつづあることも、魅力の一つです。それらを含め地域外の人々が部分的に魚津に関わることにとても寛容であるため、**新たな関係性**が築けます。



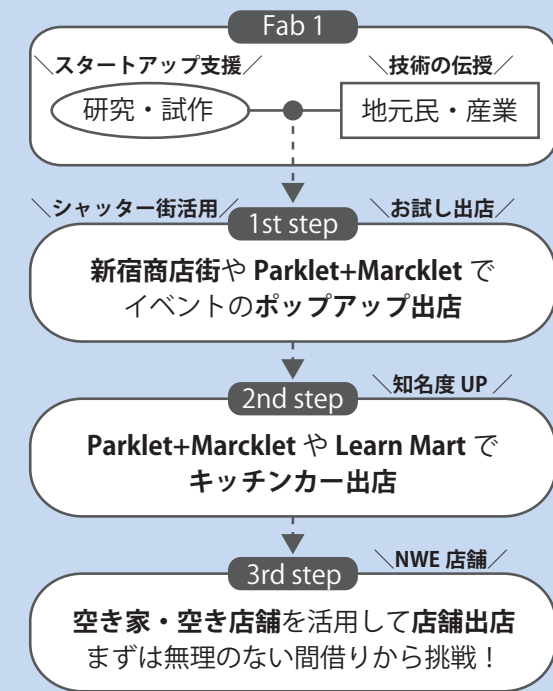
漁師の技術による山組みとたてもん祭りの風景
祭りには『魚津まつり応援団』により地域外からも参加可能 ※ 24.08 撮影

< エリア特性を活かしたプラットフォーム >



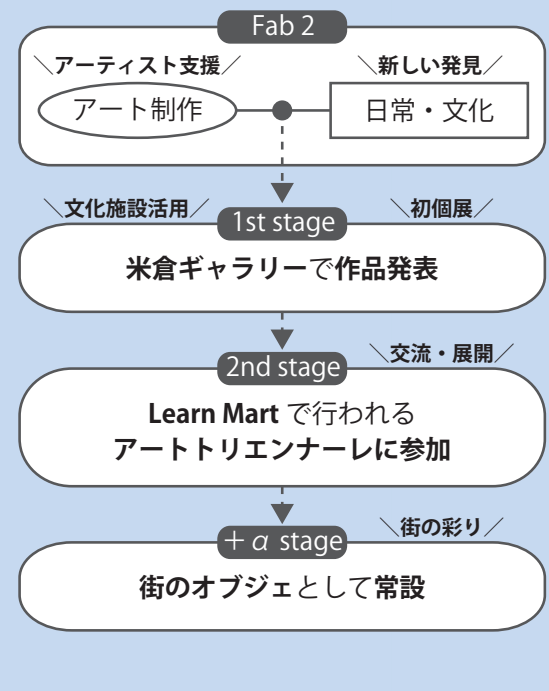
飲食スタートアップ

市内での飲食店店舗を構えることを条件にスタートアップ支援をする仕組み。魚津に滞在したり通ったりし、地元民にアトリエをうけながら特産物を取り入れた新メニューの開発やオリジナリティを研究する。イベント出店で知名度をあげたり改善を重ね徐々にステップアップする。最終的には市内の空き家・空き店舗を活用して店舗を構えることが目標。魚津の産業や地元民の知恵と新しい視点が結びつき飲食店増加にもつながる。



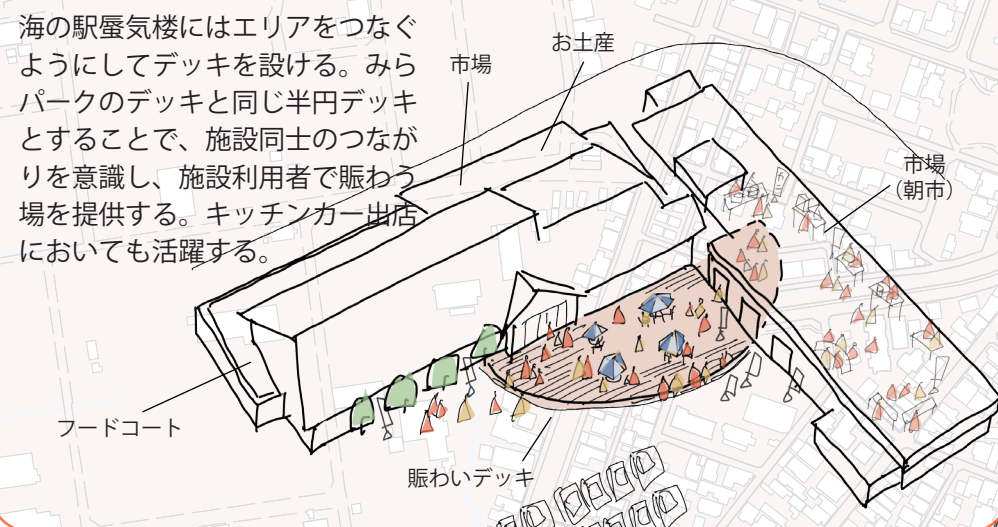
アーティスト・イン・レジデンス

アトリエ付ドミトリーに滞在しながらアート制作ができるアーティスト支援の仕組み。滞在中制作した作品は、米騒動発祥の地の米倉をギャラリースペースとして公開ができる。また、Learn Mart で行うアートトリエンナーレに参加したり、アウトサイドラインのように街のオブジェとして常設したりなど、アーティストが活躍するステージとなる。歴史的な文化施設と魚津の地に刺激を受けた新しいアートの結びつきが魚津の未来を彩る。



海の駅蟹気楼 賑わいデッキ

海の駅蟹気楼にはエリアをつなぐようにしてデッキを設ける。みらパークのデッキと同じ半円デッキとすることで、施設同士のつながりを意識し、施設利用者で賑わう場を提供する。キッチンカー出店においても活躍する。



オールシーズン営業する施設との連携

気候の影響で冬季休業施設が多いことや寒暖差を考慮して、屋内利用のできる大型施設にてキッチンカー出店を計画する。各施設の来客者の増加にもつながる。



米騒動前のおむすび屋さん

文化施設の活用とその歴史を知るきっかけとなる魚津のお米を使ったおむすび屋さんの計画。



市内を巡る市民バス9ルートのうち7ルートが経由するバスの駅
市街地巡回ルート



